

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉校			
○保護者評価実施期間	2025年10月22日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月12日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	未満児のお子様の小集団での活動	利用者様のその日の様子によって様々な支援プログラムを作成し利用者様の状況に合わせた療育を提供しております。	今後も未満児のお子様が増えた際の活動のバリエーションを増やしていきたいです。
2	園などといった関係機関との連携	利用者様が通園している保育園など関係機関の担当者の方と情報共有を行い、利用者様に最善な支援の提供、現況把握を常に行っております。	より多くの方にクラ・ゼミでの取り組みや出来る事を知って頂くため、利用者様に関係がある場所だけではなく、その他の場所でも伝えていく。
3	利用者様が楽しめる療育の提供	利用者様が興味を持てるようなアプローチを行っています。最初は利用者様と職員の関係づくりを最優先し、お子様の事を知る事で楽しく療育が提供できる様にしております。	職員各々もっと視点をとつて出来る事を広げ出来る頃事を増やしていきたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流の少なさ	保護者会などといったイベントの企画ができていない。駐車場に車を置ける台数が限られており複数の世帯の保護者様が事業所に集まる事が困難になっている。	療育の時間とは別に保護者会を実施など別枠での実施を行う。
2			
3			

従業者向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		お子様と職員が1対1で療育を提供できる環境を設定しています。また小集団を行う際は支援スペースを広くすることも行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		1 と同上
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		入り口をスロープにして車椅子やベビーカーが入室できる様にしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝欠かさず清掃活動を行っております。また活動に応じて部屋の配置を変えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		4 と同上
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		担当職員のみならず全ての職員に共有を行い、様々な視点から常にアプローチを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年、保護者様向けアンケートを実施し頂いた意見を元に改善をさせて頂いております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の業務の中で様々な意見を出し合い、改善点などあれば早急に改善しております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第3者評価は行っておりませんが校舎ごとで相互チェックを行っております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		会社全体での研修や地区ごとでの研修を行い、職員のスキルアップを常に行っております。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		保護者様の要望や利用者様の現状にしっかり沿ってプログラム作成を行っております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		11 と同上
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		様々な職員からの目線も含めた計画作成を行っております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に基づき支援を提供しております。計画の作成には担当者のみならず、全職員に共有しております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の状況やアセスメントシートを用いてお子様の状態を把握し支援の提供を行っております。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		13と同上
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		13と同上
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員同士、どのような支援を提供したのか共有し、プログラムが固定化しない様行っております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援メインにさせて頂いておりますが、お子様の様子を見ながら小集団の活動も取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		担当職員同士打合せを必ず行い、お子様の状況を確認し最善な支援が提供できる様行っております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		20と同上
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録の方を残し、職員同士支援の内容など常に共有できる状態にしております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		必ず半年に1回計画の見直しをしております。またお子様の状況によって半年を待たず早めに見直しをしたりなど必要に応じて行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者、児発管のみならずそのお子様の事を担当する事が多い職員が参加しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関への連携など行っております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		25と同上。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		25と同上。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	併用しているお子様は連携をさせて頂く事がありますが、まだまだ機会等は少ないです。今後積極的に行いたいと思っております。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	事例がないのでこちらも今後増やしていける様にしています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援終了時にはフィードバックを行い、支援時の状況や目的をしっかりと伝えする様にしております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	こちらの方も機会を増やしていける様にいたします。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時への説明はもちろん変更があった際には必ず説明を行う様にしております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		23と同上
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		保護者様に必ず確認していただき同意を得て支援を提供させて頂いております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援時のフィードバックや面談などを通じてお伝えさせて頂いております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者様との交流会はなく今後増やしていける様にいたします。きょうだいでは通所の有無に関わらず必要に応じて支援の場に入って貰う事をしております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		38と同上
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に2回ブログの発信や福山4校舎で通信を作成し、案内を行っております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫にて管理させて頂いております。また利用者様などの本人が特定できない様にしております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個人に合わせた対応をさせております。
非常時等の	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	こちらの方も機会を増やしていける様にいたします。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルの設置と月に1度の防災訓練を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		45と同上
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		その都度の確認を徹底しております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		47と同上
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全を1番に支援を提供させて頂いております。

対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		マニュアルの設置や緊急の避難先の周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		様々な地域の情報を共有し、事故が起こらない様に支援を提供しております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修や職員のストレスチェックを行い、起こらない体制づくりを行っております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		52と同上

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 11名

回収数 6名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1	0	0	一対一でして下さってあるので十分です。	今後も個別支援を中心にお子様に最適な支援を提供できる様にいたします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	1	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	0	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	0	0	1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	0	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	0	0	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	0	0	0		
や	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	0	2		こちらの方今後増やしていける様にいたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	5	0	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	0	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	0	0	3		今後保護者様同士の交流が増やせる様にいたします。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	1	0	3		月に2回のブログ発信をさせて頂いております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	2		事故等が起こった際は必ずお伝えさせて頂いております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	0	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	0	今日はどの先生かな〜とワクワクします。	今後もお子様を楽しめる様な支援が提供できる様にいたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	1		